

J Aバンク大分における地域密着型金融の取組状況（平成 28 年度）

J Aバンク大分（大分県下 J Aと大分県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 28～30 年度 J Aバンク大分中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 28 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク大分は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク大分は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 29 年 3 月末時点の J Aバンク大分の農業関係資金残高^(注1)は 12,807 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 1,913 百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク大分が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	平成 29 年 3 月末現在
農業	5,810
穀作	471
野菜・園芸	440
果樹・樹園農業	197
工芸作物	44
養豚・肉牛・酪農	449
養鶏・鶏卵	7
養蚕	0
その他農業	4,198
農業関連団体等	6,997
合計	12,807

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成29年3月末現在
プロパー農業資金	9,390
農業制度資金	3,417
農業近代化資金	1,882
その他制度資金	1,534
合 計	12,807

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク大分が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク大分が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

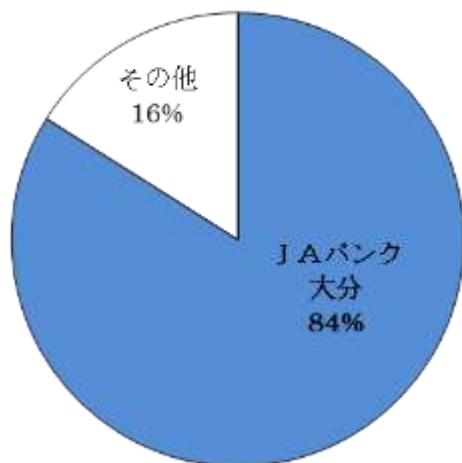
種 類	平成29年3月末現在
日本政策金融公庫資金	1,913
そ の 他	0
合 計	1,913

(注) JAバンク大分では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

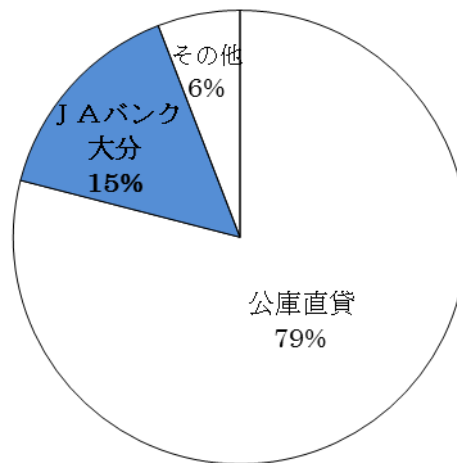
JAバンク大分は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【大分県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
(平成28年12月末時点)



日本政策金融公庫 農業資金取扱いシェア
(平成29年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク大分では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成 28 年度末時点で 5 J A・66 名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成 28 年度末時点で県内に 32 名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

大分県の J Aグループでは、信連・中央会・全農おおいたが一体となって「担い手サポートセンター」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでいます。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズに J Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

(4) 農業メインバンク C S 調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンク C S 調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク大分は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク大分では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件、百万円

	平成 28 年度 実行件数	平成 28 年度 実行金額	平成 29 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	0	0	0
就農支援資金	—	—	18
J A新規就農応援資金	0	0	2
その他	0	0	0
合計	0	0	20

(2) 農商工連携の推進

JAバンク大分は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【平成 28 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
第4回 JAグループ・JFグループ九州沖縄商談会	平成 29 年 1 月 20 日	九州各県信連 農林中央金庫	10 団体 (全体 82 団体)	437 名	成約 4 件 (全体 48 件)

(3) JAバンク大分講演会・セミナー等の開催・参画

JAバンク大分では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ファンドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【平成 28 年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
農業経営者セミナー	平成 28 年 12 月 2 日	JA 大分信連 農林中央金庫	融資取引先 融資推進先	27 名	・農業経営における労務管理 ・日本の食糧・農業の現状と今後の課題 ・農業を応援するJAバンクの取組み
担い手農業経営者セミナー	平成 28 年 12 月 12 日	JA おおいた JA 大分信連 (担い手 SC)	担い手農業経営者	22 名	・経営者として活躍していくための心構え

(4) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク大分では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【平成 28 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
正常先①	3	0	—	3	0.0%	0.0%	
要注意先	うち その他要注意先②	4	0	0	4	0.0%	0.0%
	うち 要管理先③	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先④	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
実質破綻先⑤	4	0	0	4	0.0%	0.0%	
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
小計 (②～⑥の計)	8	0	0	8	0.0%	0.0%	
合計	11	0	0	11	0.0%	0.0%	

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 29 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底
 JAバンク大分では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

JAバンク大分では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

(2) 6次産業化の支援

JAバンク大分では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

(3) 負債整理資金による経営支援

JAバンク大分では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成28年度 負債整理資金の貸出実績】

単位 件、百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成29年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	82
畜産特別資金	0	0	198
その他	17	35	942
合計	17	35	1,221

- ・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(4) 動産担保融資の活用

JAバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク大分では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

JAバンク大分は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、平成28年度には県下の小学校278校へ約14,380冊配布され、学校の授業等において活用されています。また、県下JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JA大分中央会	食育ファミリーフェスタ	ぶどう狩り体験
JAべっぷ日出	ものづくり体験会	サツマイモ収穫体験
JAおおいた	ふれあい農園	ジャガイモの植付け、収穫体験
	環境美化活動	景観形成植物（コスモス）の育成体験
JA玖珠九重	夏休み親子スクール	ピーマン、米の育成方法について学習
JA九重町飯田	学童農園	野菜の育成体験
	農業体験	米の収穫体験

以上